

# 千葉大学病院にて肝内胆管癌に対して手術を受けた 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2023年10月12日

肝胆膵外科

肝胆膵外科では、FAK 活性抑制による肝内胆管癌の可塑性誘導を目指した新規分子標的治療の開発に関する研究を行っており、以下に示す方の試料や診療情報等を利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に試料・情報等を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

## 本文書の対象となる方

2000年1月から2021年12月までに当科にて肝内胆管癌に対して手術を  
施行された方

### 1. 研究課題名

「FAK 活性抑制による肝内胆管癌の可塑性誘導を目指した新規分子標的治療の開発」

### 2. 研究期間

2023年承認日～2026年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

### 3. 研究の目的・方法

肝内胆管癌は外科的根治手術が可能であっても、術後早期に再発、転移を来すことのある疾患です。そこで本研究では、肝内胆管癌で手術した患者さんの切除された標本を使用させていただき、腫瘍の進行にかかわる蛋白質の発現を評価し、その機序を明らかにすることを目的としました。対象患者さんの病理用パラフィンブロックを使用して免疫染色により各種蛋白発現を解析し、各患者さんの診療情報（性別、年齢、採血データ、画像データ等）や病理組織検査のデータや予後データとの関連を解析し評価します。

### 4. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：肝内胆管癌組織（手術時に採取され、保管されているもの＝病理用パラフィンブロック）

情報：性別・性別、年齢（手術時）、人種、身長、体重、BMI、病歴、治療歴、手術情報、

各種検査結果（血液検査、画像診断、病理組織検査他）、予後データなど

## 5. 研究組織

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院 病院長 横手 幸太郎

研究責任者：臓器制御外科学 教授 大塚 将之

研究担当者：総合医科学講座 特任教授 久保木 知

臓器制御外科学 特任助教 高柳 良介

## 6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、厳重に管理します。試料・情報は千葉大学臓器制御外科学内で厳重に保管します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

## 7. 研究についての相談窓口について

研究に試料・情報等を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。試料・情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はございません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等がございましたら、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

研究実施機関：千葉大学医学部附属病院 肝胆膵外科

本件のお問合せ先：医学部附属病院 肝胆膵外科

高柳 良介

043 (222) 7171 内線 6731 (肝胆膵外科 臨床研究室)